

単元まるごと計画「週末・夏休みレポーター」（全8時間）

単元のゴール（can-do）：週末や夏休みにしたこと・その感想を、過去の表現（went / ate / saw / enjoyed, It was）で伝え合い、おたがいの休みの過ごし方を知り合う。

評価規準 3観点（国研参考資料の文型で作成）

知識・技能	I went to / I enjoyed / It was などの表現について理解しているとともに、週末や夏休みにしたことと感想を伝え合う技能を身に付けている。
思考・判断・表現	おたがいの休みの過ごし方を知るために、したことや感想について、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合っている。
主体的に学習に取り組む態度	おたがいの休みの過ごし方を知るために、したことや感想について、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合おうとしている。

◎＝記録に残す評価（方法つき）。◎のない時間は指導に徹し、記録に残す評価は行わない。

単元の流れ 全8時間

時	紙面	主な活動	帯（毎時間のはじめ）	評価
1	SO	先生の週末・夏休みの話を聞く（went / ate / saw / enjoyed に会う）	歌／チャンツ	記録なし
2	SO	したことの言い方練習（絵カード）＋過去チャンクかるた（活動1）	Small Talk①話題1（先生の週末）	記録なし
3	YT	感想の言い方 It was＋リアクション練習	歌／チャンツ	記録なし
4	YT	週末レポーター・インタビュー（活動2）＋書きWS①	Small Talk①話題2（夏休みのいちばん）	記録なし
5	EC	自分の「思い出トーク」を組み立てる（3文：went→did→感想）	歌／チャンツ	◎ 行動観察（知技）
6	EC	思い出トーク本番①（グループ発表→質問タイム）→中間指導	歌／キーフレーズ暗唱	◎ 行動観察（思判表）
7	OH	世界の子どもの夏休みを聞く（教科書OH）＋思い出トーク本番②→おわりに思い出ランキング発表	歌／チャンツ	記録なし
8	OH	パフォーマンステスト（やり取り）＋単元の振り返り	なし——テストに使い切る	◎ テスト（知技・思判表）＋振り返りカード（態度）



45分の基本形と運用メモ

45分の基本形 毎時間この流れ（先生は上から順に使うだけ）

分	やること	使う教材
0-5	あいさつ・歌	—（教科書付属音源）
5-10	Small Talk／チャンツ	Small Talk台本①
10-15	語彙の練習	絵カード
15-17	めあての確認	—（黒板に3文の型を掲示）
17-37	主活動 ※途中で中間指導	活動シート1～2
37-45	振り返り（1行）・あいさつ	振り返りカード（汎用）

時間が足りないときは、ここを削る（優先順）

1. かるた（第2時）は1回戦でやめる（2回戦は朝の時間や雨の日の予備に回せる）
2. 思い出トークの発表は1人30秒厳守（延ばすと本番②が消える）
3. OHの世界の夏休みは「聞いて1つ言えたらOK」に圧縮してよい

準備物 印刷するだけ（準備5分）

- ☐ 絵カード（提示用1部+かるた用に班数分）
- ☐ 活動シート1～2（各時間、人数分）
- ☐ 書きワークシート①（人数分）
- ☐ パフォーマンステスト式（先生用・第8時）
- ☐ 振り返りカード（es5-hello版の型を流用可・単元名だけ書き換え）

配慮が必要な子へ

- ・過去形の「形」は教えない（went＝行った、のかたまりで音から入る。規則変化の説明は中学の仕事）
- ・話す前に絵カードを選ばせて「話す内容を先に決める」→言葉が出やすくなる
- ・3文がむずかしい子は1文+ジェスチャーでOK（伝われば◎）
- ・夏休みに「どこにも行っていない」子のために、I stayed home. を先生が黒板に出しておく（絵カード16枚に家・図書館はない）。行き先の豪華さは評価と無関係だと最初に宣言する

先生へ（この単元の勘どころ）

- ・この単元の地雷は「夏休みの思い出格差」。第1時の先生モデルはあえて地味な週末（スーパー・公園）で示し、「どこへ行ったかではなく、どう伝えるか」に焦点を置く
- ・went / ate / saw / enjoyed は文法でなく「音のかたまり」。かるたで体に入れてから話す活動へ
- ・第6時の中間指導では「質問（How about you?）で話をつなげた子」を紹介して広げる